

# RATOC RAID 監視マネージャーVer.2 for Windows ソフトウェアマニュアル

ラトックシステム株式会社 2017年1月 第1.1版



RATOC RAID 監視マネージャーVer.2 for Windows（以下略、RATOC RAID 監視マネージャー）は、RAID ケース製品専用のオリジナルソフトウェアです。  
※Windows XP/Vista/8 にはインストールできません。

## もくじ

<b>1. はじめに</b> .....	<b>2</b>
1-1. 対応製品・対応OS.....	2
1-2. RATOC RAID監視マネージャー Ver.2 for Windowsの機能.....	2
1-3. 各製品での制限事項.....	2
<b>2. インストール手順</b> .....	<b>3</b>
<b>3. RAIDの作成手順（またはRAIDの削除手順）</b> .....	<b>5</b>
<b>4. RATOC RAID監視マネージャーの機能説明</b> .....	<b>7</b>
4-1. RATOC RAID監視マネージャーのメニュー（アイコンを右クリックで表示）... 7	7
4-2. RATOC RAID監視マネージャーの起動と終了.....	8
4-3. RAID作成.....	9
4-4. RAID監視.....	10
4-5. 手動リビルド.....	11
4-6. RAID1（ミラーリング）の障害発生時の対応、リビルド実行中の注意.....	12
4-7. マスターディスクの変更.....	13
4-8. 暗号化管理.....	14
4-8-1. 暗号化前の状態.....	15
4-8-2. 暗号化ディスク作成（パスワード設定）.....	16
4-8-3. ロック状態を解除.....	17
4-8-4. ロック解除状態からロック状態に戻す.....	18
4-8-5. 認証画面.....	19
4-8-6. 認証情報変更.....	20
4-8-7. 暗号化削除.....	21
4-9. S.M.A.R.T.情報.....	22
4-10. ログ情報.....	23
4-11. 省エネ設定.....	24
4-12. 動作設定.....	25
4-13. メール設定.....	26
4-14. ヘルプ.....	27
4-15. バージョン情報.....	27

# 1. はじめに

---

RATOC RAID 監視マネージャーは、RAID ケース製品専用のオリジナルソフトウェアです。

## 1-1. 対応製品・対応OS

<対応製品>

- ・ RS-EC32-U31R            USB3.1 Gen2 対応 RAID ケース (HDD2 台用)
- ・ RS-EC32-U3R(X)        USB3.0/2.0 RAID ケース (HDD2 台用/ブラック)
- ・ RS-EC32-U3RWS(X)    USB3.0/2.0 RAID ケース (HDD2 台用/ホワイトシルバー)
- ・ RS-EC22-U3R            USB3.0/2.0 RAID ケース (2.5 インチ HDD/SSD 2 台用)

<対応 OS>

- ・ Windows 10/8.1/7    ※Windows XP/Vista/8 にはインストールできません。

## 1-2. RATOC RAID監視マネージャー Ver.2 for Windowsの機能

- ・ RAID 管理
  - RAID の作成・状態監視
  - 暗号化ディスクの作成・認証
- ・ 情報管理
  - S.M.A.R.T.情報の表示
  - イベントログの記録
- ・ 省エネ設定
  - 省エネ・FAN 制御・温度警告の設定
- ・ オプション設定
  - メール送信の設定

## 1-3. 各製品での制限事項

<RS-EC32-U31R での制限事項>

- ・ 下記機能が搭載されていないため、該当画面は無効(グレイアウト)表示となります。
  - ディスクの暗号化
  - リビルド優先度の設定
  - 手動リビルド
  - マスターディスクの変更
- ・ ログ情報は、アプリ起動中のイベントのみ記録されます。

<RS-EC22-U3R での制限事項>

- ・ 以下の機能に対応していません。
  - 省エネ設定の FAN 制御/温度警告設定

## 2. インストール手順

### ◆ご注意◆

Windows XP/Vista/8 にはインストールできません。

1. 右記 URL から RATO RAID 監視マネージャーVer.2 をダウンロードしてください。

ソフトウェアダウンロード

[http://www.ratocsystems.com/  
services/driver/case.html](http://www.ratocsystems.com/services/driver/case.html)

2. ダウンロードファイルをダブルクリックし、インストールプログラムを開始します。【次へ】をクリックします。

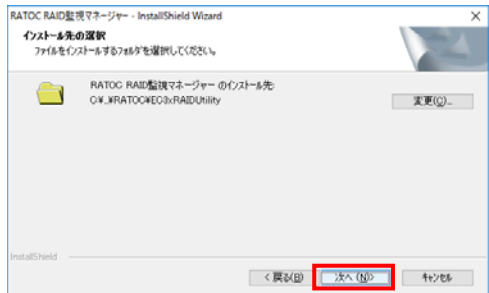
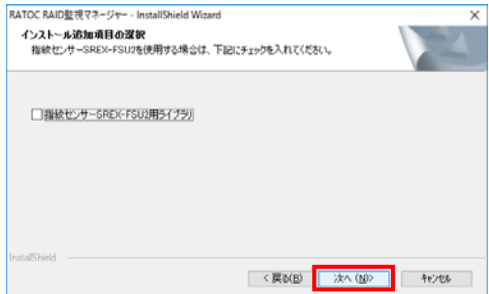
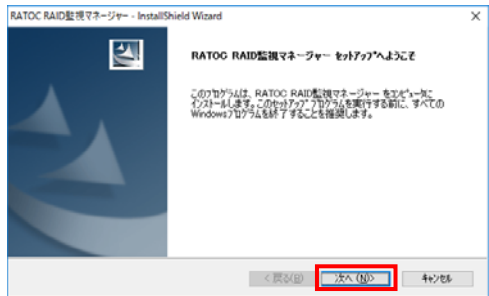
※ ユーザーアカウント制御の画面が表示された場合は【はい】をクリックしてください。

3. 【次へ】をクリックします。

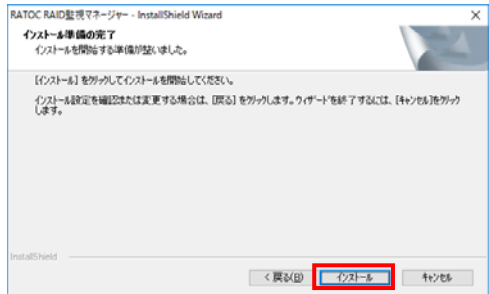
※ 弊社の指紋センサー製品を使用してディスクの暗号化をおこなう場合は、オプションにチェックを入れてください。

4. 【次へ】をクリックします。

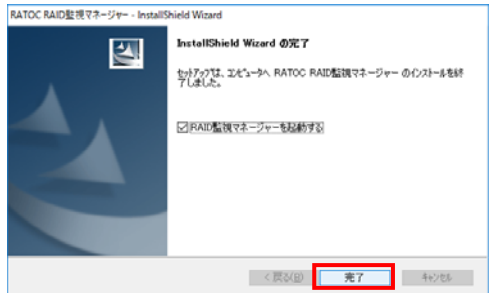
※ インストール先フォルダーを変更する場合は【変更】をクリックしてください。



5. 【インストール】をクリックします。



6. 【完了】をクリックします。

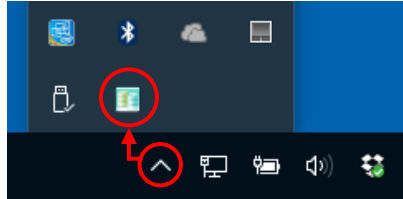


以上でインストールは完了しました。

## 3. RAIDの作成手順（またはRAIDの削除手順）

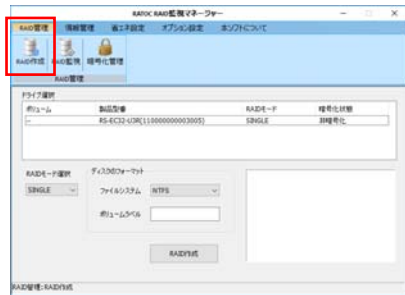
RAID の作成手順は次の通りです。

1. 隠れている通知アイコンを表示し、RATOC RAID 監視マネージャーをクリックします。



- ※ RATOC RAID 監視マネージャーは、常駐型のソフトウェアです。
- ※ アイコンが見当たらないときは、Windows のスタート画面からソフトウェアを起動してください。

2. RATOC RAID 監視マネージャーの RAID 作成画面が表示されます。



- ※ RAID 作成画面が表示されていないときは、【RAID 管理】タブの中の【RAID 作成】をクリックしてください。

3. 製品がパソコンに接続されていると、ドライブの情報が、図のように表示されます。



4. 次の手順で RAID の作成を開始します。

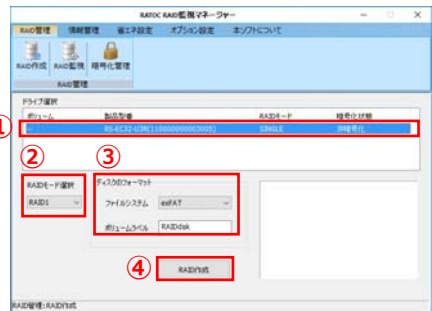
- ① ドライブを選択
- ② RAID モードを選択
- ③ ディスクのフォーマットを設定  
(ファイルシステムとボリュームラベル)
- ④ 【RAID 作成】をクリック

①

②

③

④

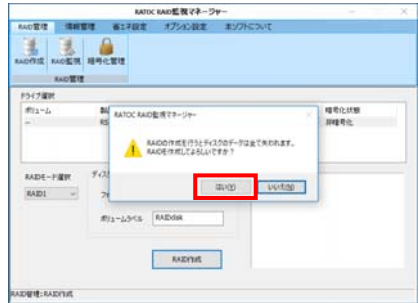


### ◆ RAID 作成時、データは削除されます ◆

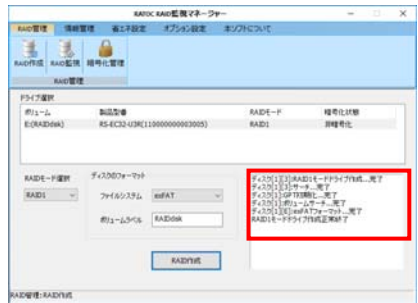
RAID 作成時、ハードディスクに保存されているデータは削除されます。

5. 「RAID 作成を行うとディスクのデータはすべて失われます。RAID を作成してよろしいですか？」のメッセージが表示されます。

【はい】をクリックします。



6. ステータスに「ドライブ作成正常終了」と表示されれば、RAID 作成完了です。

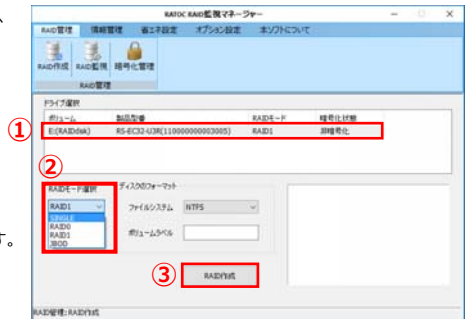


## RAID の削除手順

現在構築されている RAID ボリュームを削除したい場合は、手順 4. で次の手順を踏みます。

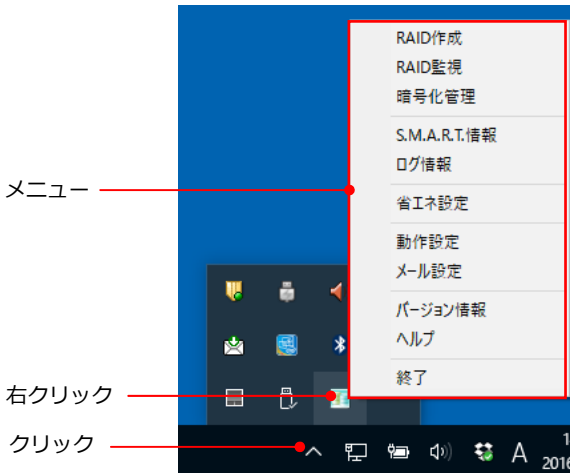
- ① RAID を削除したいドライブを選択
- ② RAID モード選択から「SINGLE」を選択  
※SINGLE で通常のディスクに戻せます。
- ③ 【RAID 作成】をクリック


RAID を削除すると RAID ドライブのデータは破壊されます。必要なバックアップ処理を事前におこなってください。



## 4. RATOC RAID監視マネージャーの機能説明

### 4-1. RATOC RAID監視マネージャーのメニュー（アイコンを右クリックで表示）



RATOC RAID 監視マネージャーは常駐型のソフトウェアです。タスクバーの【^】をクリックし、【】（RATOC RAID 監視マネージャーアイコン）を右クリックすると以下のメニューを利用できます。

#### メニュー

RAID 作成	RAID の作成をおこないます。
RAID 監視	RAID の状態を監視します。
暗号化管理	暗号化ディスクの作成、認証をおこないます。
S.M.A.R.T 情報	S.M.A.R.T 情報を表示します。
ログ情報	RAID のイベントログを記録し表示します。
省エネ設定	省エネ、FAN 制御、温度警告の設定をおこないます。
動作設定	各種動作設定をおこないます。
メール設定	警告メールの送信設定をおこないます。
バージョン情報	バージョン情報を表示します。
ヘルプ	このソフトウェアのヘルプを表示します。
終了	RATOC RAID 監視マネージャーを終了します。

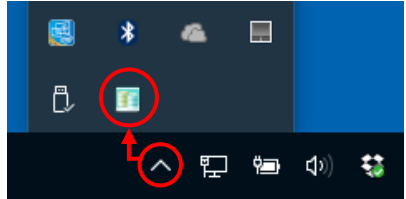
#### 通知領域にアイコンを表示するには

- Windows10 の場合  
タスクバーを右クリック、表示された一覧から[設定]を選択。通知領域の項目までスクロールし[タスクバーに表示するアイコンを選択してください]をクリックし、RATOC RAID 監視マネージャーをオンに切り替えてください。
- Windows8.1/7 の場合  
タスクバーを右クリック、表示された一覧から[プロパティ]を選択。通知領域の[カスタマイズ]をクリックし、RATOC RAID 監視マネージャーをアイコンと通知を表示に切り替えてください。

## 4-2. RATOC RAID監視マネージャーの起動と終了

### <起動手順>

1. 隠れている通知アイコンを表示し、RATOC RAID 監視マネージャーアイコンをクリックします。



※ RATOC RAID 監視マネージャーは、常駐型のソフトウェアです。

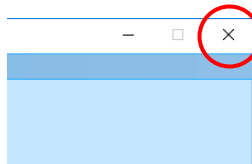
※ アイコンが見当たらないときは、Windows のスタート画面からソフトウェアを起動してください。

2. アイコンをクリックすると、右のような RATOC RAID 監視マネージャー画面が表示されます。



### <終了手順>

画面右上の【×】をクリックし、RATOC RAID 監視マネージャーの画面を閉じます。



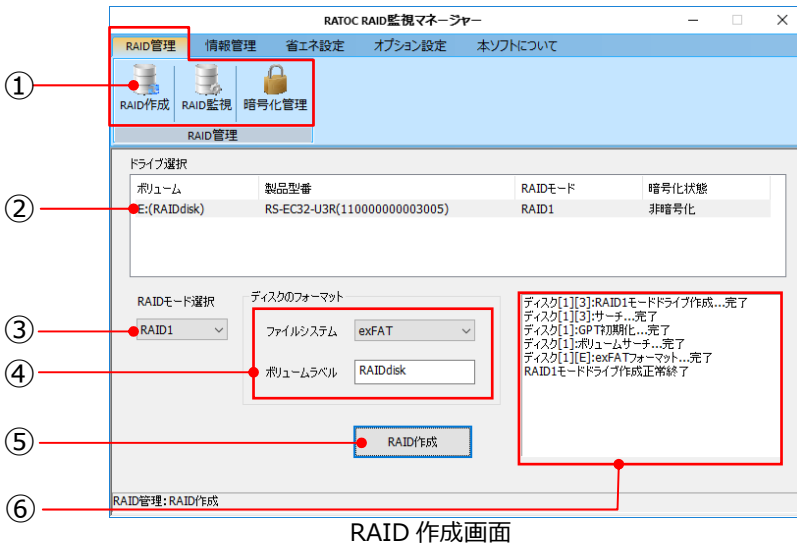
※ RATOC RAID 監視マネージャーは、常駐型のソフトウェアです。完全に終了するには、アイコンを右クリックし、メニューから【終了】を選択してください。





### 4-3. RAID作成

RAID の作成とディスクのフォーマットをおこないます。



RAID 作成画面

①	RAID 作成	RAID 作成画面を表示するには【RAID 管理】タブの中の【RAID 作成】をクリックします。
②	ボリューム選択	RAID を作成するボリュームにチェックを入れます。
③	RAID モード選択	作成したい RAID モードを選択します。 SINGLE : HDD 個別使用 RAID1 : ミラーリング RAID0 : ストライピング JBOD : スパニング
④	ディスクのフォーマット	ファイルシステムを「NTFS」「exFAT」「FAT32」「フォーマットしない」から選択し、ボリュームラベルを入力します。
⑤	RAID 作成 (ボタン)	②③④の設定をしたあと、このボタンをクリックすると RAID の作成を開始します。
⑥	ステータス	現在の処理を表示します。

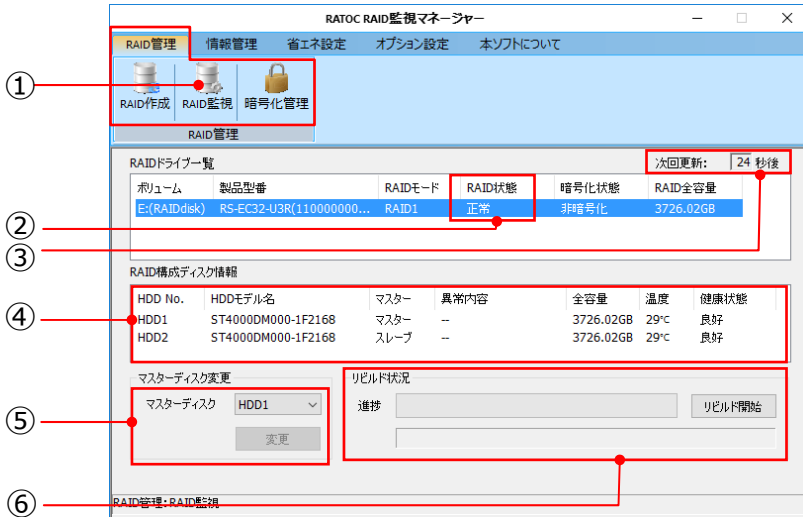


#### RAID の削除方法

RAID の削除手順は 6 ページ「RAID の削除手順」をご参照ください。

## 4-4. RAID監視

RAID の状態が正常かどうか確認をおこないます。

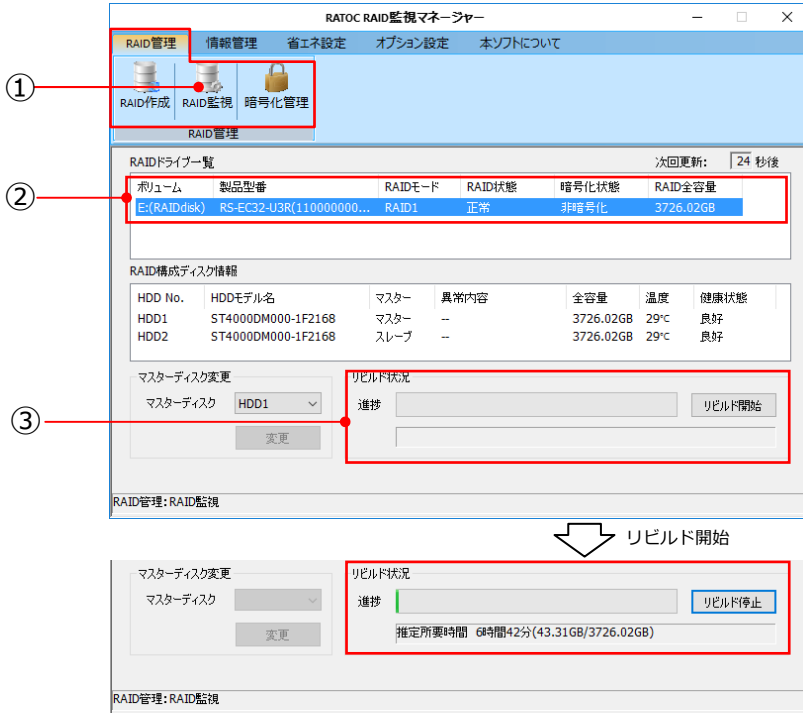


RAID 監視画面

①	RAID 監視	RAID 監視画面を表示するには【RAID 管理】タブの中の【RAID 監視】をクリックします。
②	RAID 状態	RAID 状態を表示します。例は正常と表示されています。RAID に障害があるときは「異常」と表示されます。
③	次回更新	RAID の監視は 30 秒ごとにおこなわれ、次回更新までの時間が表示されます。
④	RAID 構成ディスク情報	使用しているハードディスクの情報、温度や健康状態が表示されます。
⑤	マスターディスク変更	マスターディスクを変更したいときに使用します。 ※RS-EC32-U31R はマスターディスクの変更はできません。
⑥	リビルド状況	RAID1（ミラーリング）を運用中で、強制的にリビルドを実行したいときに使用します。 ※RS-EC32-U31R は手動リビルドに対応していません。

## 4-5. 手動リビルド

RAID1（ミラーリング）モードのリビルトを手動で開始できます。



手動リビルド画面

①	RAID 監視	RAID 監視画面を表示するには【RAID 管理】タブの中の【RAID 監視】をクリックします。
②	RAID ドライバー一覧	RAID 状態を表示します。例は正常と表示されています。RAID に障害があるときは「異常」と表示されます。
③	リビルド状況	RAID1（ミラーリング）を運用中で、強制的にリビルドを実行したいときは【リビルド開始】をクリックします。リビルドを開始すると、進捗割合と推定所要時間が表示されます。リビルドを停止したいときは【リビルド停止】をクリックしてください。 ※RS-EC32-U31R は手動リビルドに対応していません。（【リビルド開始】【リビルド停止】をクリックできません）



### リビルド中は RAID を作成できません

RAID1 モードでリビルド中の場合は、RAID を作成できません。リビルドを停止してから RAID を作成してください。  
※RS-EC32-U31R はリビルド中も RAID を作成できますが、現在の RAID モード以外の RAID にする必要があります。

#### 4-6. RAID1 (ミラーリング) の障害発生時の対応、リビルド実行中の注意

##### [障害発生時の対応]

- ①RAID1 運用中に片側の HDD に障害が発生した場合、パソコンおよび装置本体の電源はオフにしないでください。
- ②障害が発生した HDD をそのまま新しい HDD に交換してください。(電源オンのまま HDD を交換することを「ホットプラグ交換」と呼びます)
- ③ホットプラグ交換すると、自動的にリビルドが開始され正常運用となります。  
なお、リビルド実行中も正常 HDD にアクセスしてデータの読み書きができます。

##### [リビルド実行中の注意]

###### <RS-EC32-U31R の場合>

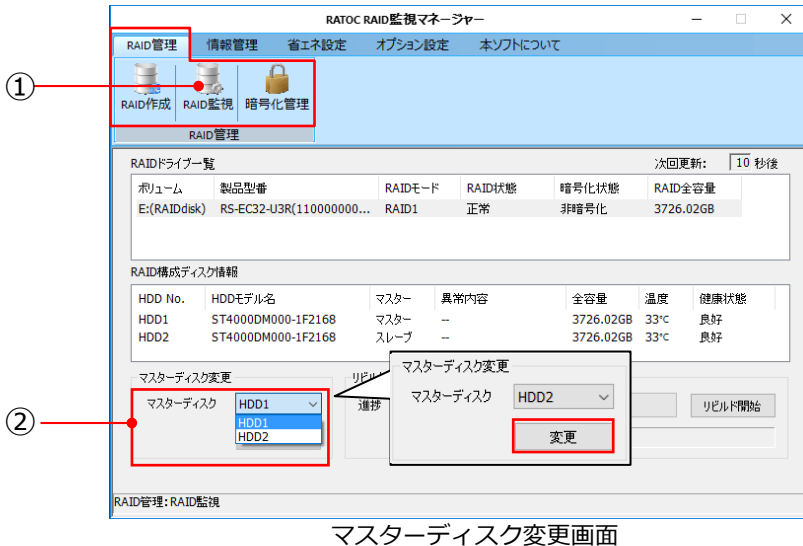
リビルド実行中に装置本体の電源をオフにしないでください。故障の原因となります。

###### <RS-EC32-U3R(X)、RS-EC32-U3RWS(X)、RS-EC22-U3R の場合>

リビルド実行中に装置本体の電源をオフにしないでください。装置本体の電源をオフにする場合は、RAID 監視マネージャーより一旦リビルドを停止した後に電源をオフにしてください。

## 4-7. マスターディスクの変更

RAID 1（ミラーリング）のマスターディスクを変更できます。

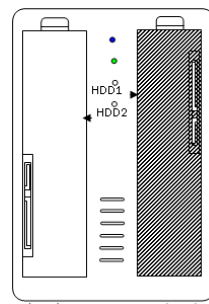
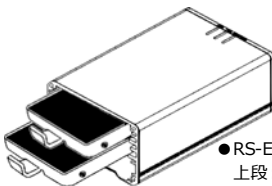


マスターディスク変更画面

①	RAID 監視	マスターディスクの変更機能は、【RAID 管理】タブの中の【RAID 監視】にあります。
②	マスターディスク変更	RAID1（ミラーリング）では通常 HDD1 がマスターディスクになりますが、HDD2 に変更したいときは、「HDD2」を選択し【変更】をクリックしてください。 ※RS-EC32-U31R はマスターディスクの変更はできません。 ※リビルド実行中はマスターディスクの変更ができません。

### マスター/スレーブについて

マスター・スレーブとは、RAID1（ミラーリング）の時にのみ存在するモードです。マスターとは、リビルド実行時データのコピー元となるディスクです。そのため、RAIDを構築後にハードディスクを取り出し、誤ってHDD1とHDD2の位置を入れ替えて挿入すると、マスターとスレーブの位置が入れ替わってしまい動作が異常になります。HDD1とHDD2のハードディスクは元の位置に戻してください。（下図、右図参照）



## 4-8. 暗号化管理

暗号化ディスクの作成、認証は暗号化管理画面でおこないます。

※RS-EC32-U31R はディスクの暗号化に対応していません。

暗号化すると、設定した認証情報でロックがかかり、読み書きが不可能な状態になります。ロックを解除するには、ロック解除時に表示された認証画面で認証に成功する必要があります。

4-8-1.	<a href="#">暗号化前の状態表示</a>	15 ページ
4-8-2.	<a href="#">暗号化ディスク作成（パスワード設定）</a>	16 ページ
4-8-3.	<a href="#">ロック状態を解除する</a>	17 ページ
4-8-4.	<a href="#">ロック解除状態からロック状態に戻す</a>	18 ページ
4-8-5.	<a href="#">認証画面</a>	19 ページ
4-8-6.	<a href="#">認証情報変更</a>	20 ページ
4-8-7.	<a href="#">暗号化削除</a>	21 ページ



暗号化管理画面（例）

### ◆ 暗号化に関する使用上の注意 ◆

- 暗号化作成処理を行うとディスクに記録されたデータは全て失われます。  
処理をおこなう前にデータのバックアップをおこなってください。
- 暗号化したディスクは、暗号化をおこなったケースでのみ使用可能です。  
暗号化したディスクを取り出して、他のケース（他の本製品含む）で使用することはできません。
- 暗号化したディスクを取り出し、他のディスクに交換・暗号化した場合、前のディスクを元に戻しても読み込めません。  
[SINGLE モードの暗号化]
- SINGLE モードで暗号化を行った場合は、HDD1/HDD2 の両方が同時に暗号化されます。  
一方の SINGLE ボリュームのみの暗号化はできません。
- [リビルド中の暗号化]
- RAID1 モードでリビルド中の場合は、暗号化作成処理ができません。  
リビルドを停止してから暗号化作成をおこなってください。

### 4-8-1.暗号化前の状態

画面は、暗号化ディスクを作成する前の状態を示しています。



暗号化管理画面（非暗号化状態）

①	暗号化管理	暗号化管理画面を表示するには【RAID 管理】タブの中の【暗号化管理】をクリックします。
②	暗号化状態	暗号化の処理がされているディスクかどうかが表示されます。例は非暗号化と表示され、暗号化がかかっていない状態を示しています。
③	暗号化作成	②で非暗号化ディスクを選択し【暗号化作成】ボタンをクリックすると暗号化ディスクの作成を開始します。

## 4-8-2.暗号化ディスク作成 (パスワード設定)

4-8-1.の画面で【暗号化作成】ボタンをクリックすると、パスワードや認証方式などの設定画面が表示されます。

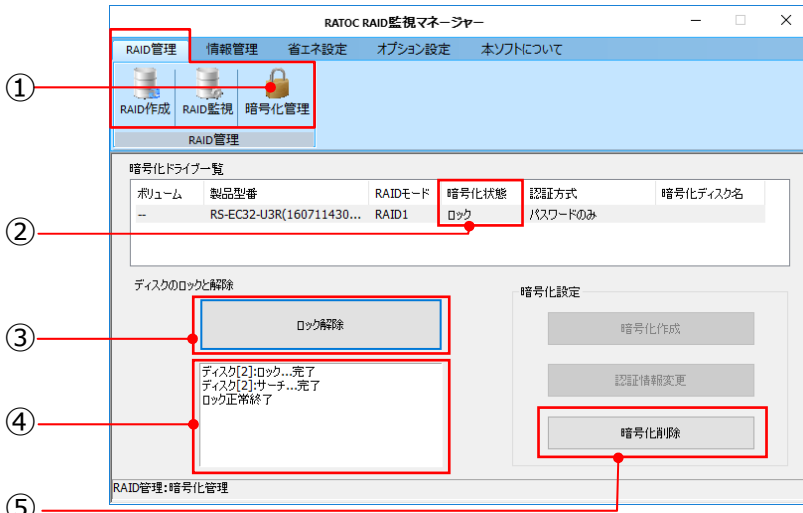
【暗号化作成】ボタンをクリックしたあとの画面 (パスワード入力)

①	ドライブ情報	暗号化するディスクのドライブ情報が表示されます。
②	パスワード	英数字、大文字、小文字、記号の組み合わせでパスワードを入力します。パスワードの安全性は「中」以上を推奨します。
③	パスワードの安全性	
④	パスワード (再入力)	
⑤	ヒント	パスワードを思い出すためのヒントを入力します。
⑥	暗号化方式	使用する暗号化方式 (鍵長) を「AES XTS 256bit」「AES XTS 128bit」から選択します。
⑦	連続認証失敗許容回数	失敗許容回数を「- (なし)」「2」「4」「6」「8」「10」から選択します。 ※認証失敗が設定回数を超えるとリセットするまで認証できません。 USB ケーブルを挿抜するとリセットできます。
⑧	暗号化ディスク名	暗号化ディスク名を入力します。省略可能です。
⑨	認証方式	認証方式を「パスワードのみ」「指紋またはパスワード」「指紋とパスワードの両方」から選択します。 ※指紋認証の利用には弊社製品の指紋センサーが必要です。 ※認証方式に指紋とパスワードの両方を設定すると、指紋センサーの故障などで指紋認証できなくなった場合に暗号化ディスクのロック解除・認証情報変更・暗号化解除の処理が実行できなくなります。
⑩	ファイルシステム	暗号化ディスクのフォーマット形式を「FAT32」「NTFS」「exFAT」「フォーマットしない」から選択します。
⑪	戻る	前の画面に戻ります。
⑫	次へ	入力した設定内容で暗号化ディスク作成を続行します。



### 4-8-3.ロック状態を解除

ロック状態のとき、暗号化ディスクは読み書きできません。【ロック解除】をクリックしてロックを解除してください。

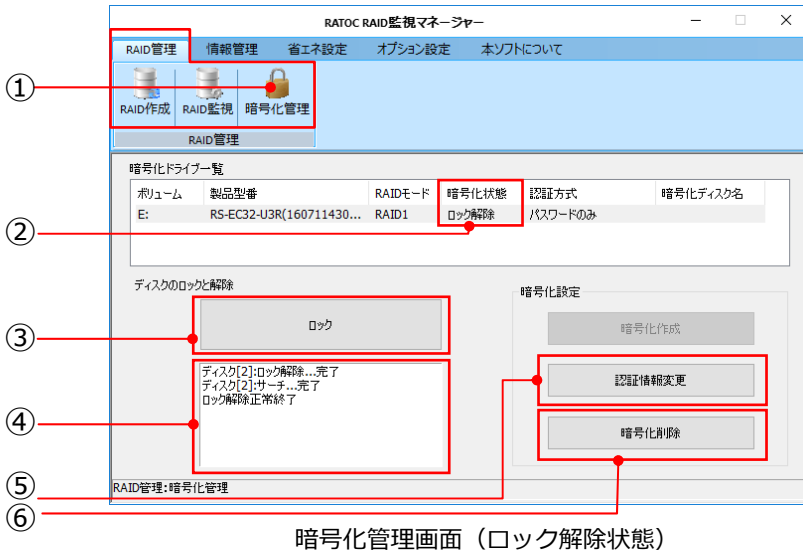


暗号化管理画面（ロック状態）

①	暗号化管理	暗号化管理画面を表示するには【RAID 管理】タブの中の【暗号化管理】をクリックします。
②	暗号化状態（ロック）	ロックがかかっており、ディスクの読み書きができない状態を示します。
③	ロック解除	暗号化ディスクを読み書き可能な状態にする場合は、【ロック解除】をクリックします。表示された認証画面で、認証に成功するとロックは解除されます。 「4-8-5.認証画面」参照
④	ステータス	現在の状態が表示されます。
⑤	暗号化削除	暗号化ディスクを通常のディスクに戻す処理をおこないます。「4-8-7.暗号化削除」参照

#### 4-8-4.ロック解除状態からロック状態に戻す

ロックを解除すると、暗号化ディスクは読み書きができます。ディスクをロック状態に戻すには【ロック】をクリックしてください。

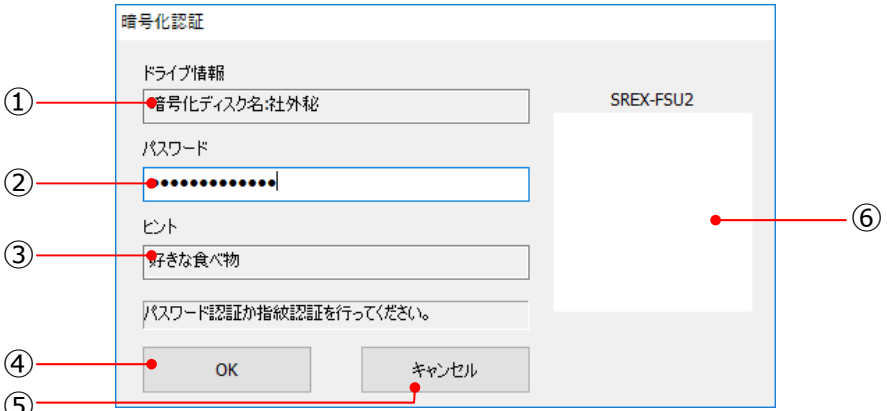


暗号化管理画面（ロック解除状態）

①	暗号化管理	暗号化管理画面を表示するには【RAID 管理】タブの中の【暗号化管理】をクリックします。
②	暗号化状態 （ロック解除）	ロックがかかっておらず、ディスクの読み書きができる状態を示します。
③	ロック	クリックすると、暗号化ディスクがロック状態に移行し、読み書きできない状態になります。 ※ホスト PC と接続している USB ケーブルが抜かれた場合やホスト PC の電源がオフとなった場合（USB への電源供給が切れた場合）は自動的にロック状態に移行します。
④	ステータス	現在の状態が表示されます。
⑤	認証情報変更	暗号化ディスクの認証情報（パスワード・ヒント・暗号化ディスク名・認証方式）を変更する場合に使用します。 <a href="#">[4-8-6.認証情報変更]</a> 参照 ※認証情報変更はロック解除状態のディスクでのみ可能です。 ※暗号化方式・連続認証失敗許容回数は変更できません。
⑥	暗号化削除	暗号化ディスクを通常のディスクに戻す処理をおこないます。 <a href="#">[4-8-7.暗号化削除]</a> 参照

### 4-8-5. 認証画面

ロック解除、認証情報変更、暗号化削除を実行する際、次のような認証画面が表示されます。

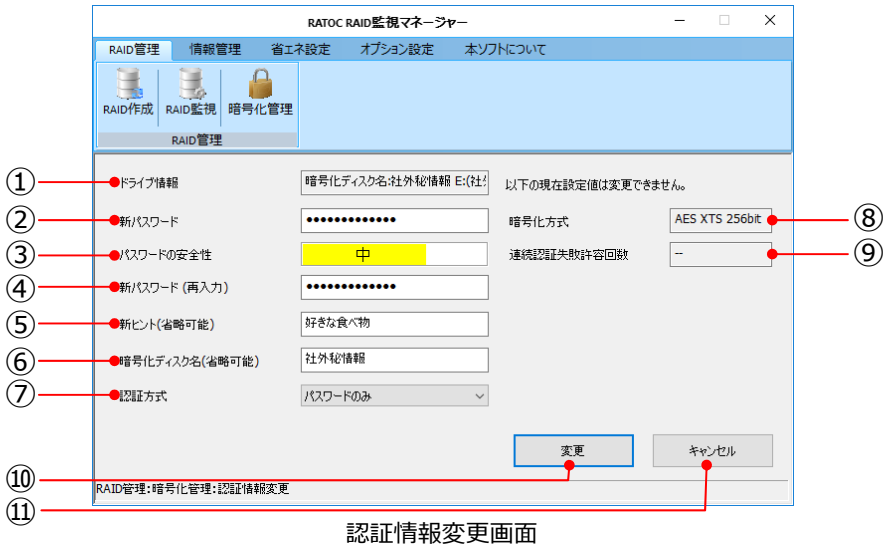


暗号化の認証画面

①	ドライブ情報	対象ドライブのボリューム名（または暗号化ディスク名）が表示されます。
②	パスワード	パスワードを入力します。
③	ヒント	パスワードを思い出すためのヒントが表示されます。
④	OK	認証するには【OK】をクリックします。
⑤	キャンセル	認証せず、前の画面に戻ります。
⑥	SREX-FSU2	指紋センサーによる認証を利用している場合は、ここに情報が表示されます。

### 4-8-6. 認証情報変更

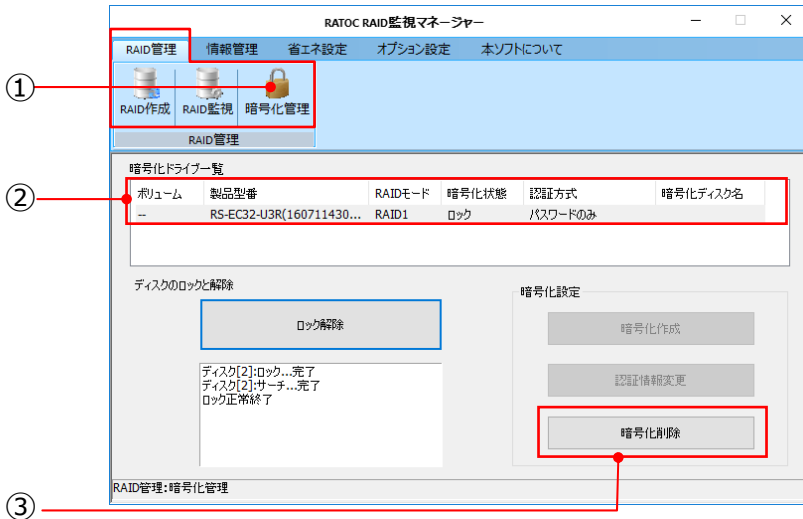
4-8-4.の画面で【認証情報変更】ボタンをクリックすると、下記の画面が表示され、ここでパスワードやヒントなどの設定を変更できます。



①	ドライブ情報	対象ドライブのボリューム名（または暗号化ディスク名）が表示されます。
②	新パスワード	新しいパスワードを、英数字、大文字、小文字、記号の組み合わせで入力します。パスワードの安全性は「中」
③	パスワードの安全性	以上を推奨します。
④	新パスワード（再入力）	
⑤	新ヒント	新しいヒントを入力します。
⑥	暗号化ディスク名	新しい暗号化ディスク名を入力します。省略可能です。
⑦	認証方式	変更できません。 ※指紋認証の追加をすると変更が可能です。【キャンセル】して前の画面に戻り、【認証情報変更】ボタンを再度クリックして認証成功後に表示される「指紋認証を追加しますか?」ダイアログで【はい】を選択してください。
⑧	暗号化方式	変更できません。
⑨	連続認証失敗許容回数	変更できません。
⑩	変更	設定を変更します。
⑪	キャンセル	設定を変更せず、前の画面に戻ります。

### 4-8-7.暗号化削除

作成した暗号化ディスクを通常のディスクに戻します。



暗号化管理画面（暗号化削除をおこなう前）

①	暗号化管理	暗号化管理画面を表示するには【RAID 管理】タブの中の【暗号化管理】をクリックします。
②	暗号化ドライブ一覧	暗号化ディスクの状態が表示されます。
③	暗号化削除	②で暗号化を解除するディスクを選択し、【暗号化削除】をクリックすると認証画面が表示されます。認証成功後に暗号化ディスクが通常のディスクに戻ります。

#### ◆暗号化削除の注意◆

暗号化削除処理を行うとディスクに記録されたデータはすべて失われます。  
処理する前にデータのバックアップをおこなってください。

## 4-9. S.M.A.R.T.情報

S.M.A.R.T.情報 (Self-Monitoring Analysis and Reporting Technology) が表示されます。



S.M.A.R.T.情報画面

①	S.M.A.R.T.情報	S.M.A.R.T.情報画面を表示するには【情報管理】タブの中の【S.M.A.R.T.情報】をクリックします。
②	ドライブ構成ディスク選択	S.M.A.R.T.情報を参照したいボリュームを選択します。
③	S.M.A.R.T.情報	②で選択したボリュームの S.M.A.R.T.情報が表示されます。 各属性項目には、「現在値」、「最悪値」、「閾値」、「生の値」の4つの項目があり、現在値または最悪値が閾値を下回ることがあれば、ハードディスクが健康な状態ではないと推測できます。この情報を元に②の一覧には、健康状態が3段階(良好・注意・危険)で表示されます。
④	最新情報更新	S.M.A.R.T.情報を最新の測定値に更新します。

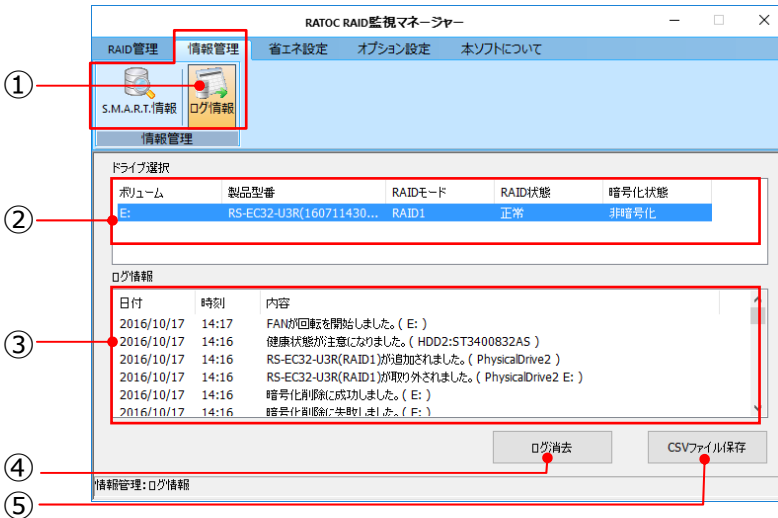


### HDD の温度の算出と一般的な動作保証温度

HDD の温度は、S.M.A.R.T.情報の C2:温度属性より算出して表示しています。一般的にハードディスクで動作保証されている最高動作温度は60℃です。

## 4-10. ログ情報

製品に関するログ情報が表示されます。



ログ情報画面

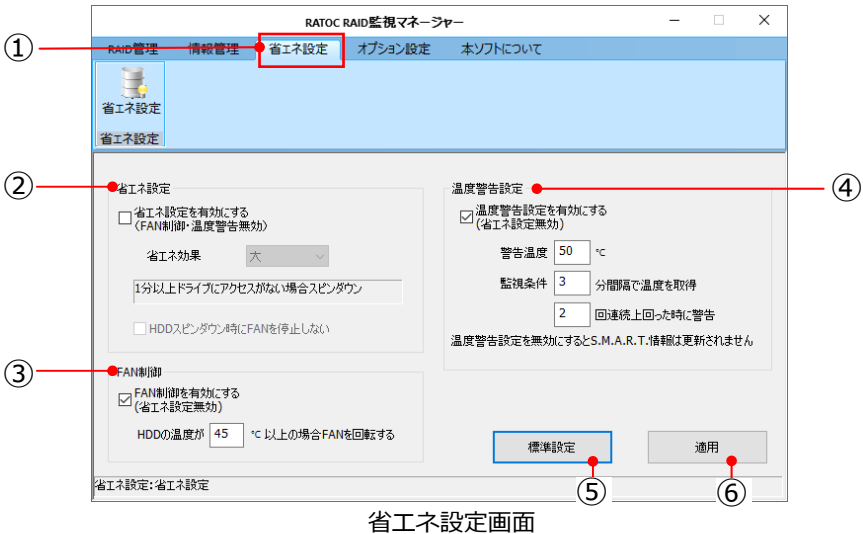
①	ログ情報	ログ情報画面を表示するには【情報管理】タブの中の【ログ情報】をクリックします。
②	ドライブ選択	ログ情報を参照したいドライブを選択します。
③	ログ情報	②で選択したドライブのログ情報が表示されます。 ログ情報として記録されるイベントは【オプション設定】 - 【動作設定】にて選択ができます。
④	ログ消去	ログ情報を消去したいときに使用します。
⑤	CSV ファイル保存	CSV ファイル形式でログ情報が保存されます。

### ログを消去する前に

ログの消去をおこなう前に、いったん CSV ファイルとして保存することを推奨します。

## 4-1 1. 省エネ設定

「省エネ設定」「FAN 制御」「温度警告設定」をおこなうことができます。



省エネ設定画面

①	省エネ設定	省エネ設定画面を表示するには【省エネ設定】タブをクリックします。
②	省エネ設定	「省エネ設定を有効にする」にチェックを入れると、一定時間 HDD にアクセスが無いときに HDD をスピンドウンさせることにより省エネ効果を実現します。省エネ効果は、大中小の三段階で設定することができます。SSD の場合はスタンバイモードに移行します。 「HDD スピンドウン時に FAN を停止しない」にチェックを入れると、HDD がスピンドウンした後も FAN が回転します。 ※RS-EC22-U3R では「HDD スピンドウン時に FAN を停止しない」を設定できません。
③	FAN 制御	「FAN 制御を有効にする」にチェックを入れると、HDD の温度が設定温度以下の場合には FAN を停止させることによる静音効果を得ることができます。 ※RS-EC22-U3R (FAN 非搭載) では FAN 制御を設定できません。
④	温度警告設定	「温度警告設定を有効にする」にチェックを入れると、HDD の温度が警告温度以上になるとログ情報に記録し、警告をメールで知らせることができます。
⑤	標準設定	設定を初期設定値に戻します。
⑥	適用	クリックすると、変更した設定を適用します。

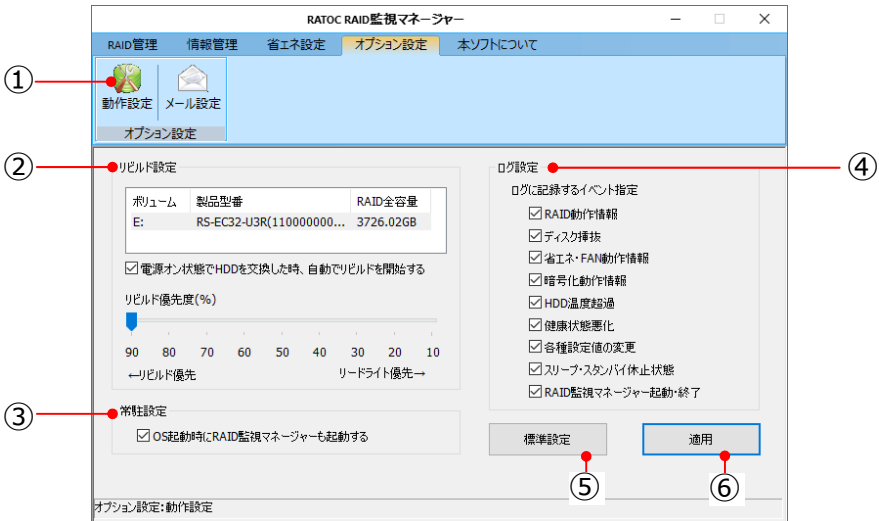
**省エネ設定と同時に有効化できない設定があります**

省エネ設定を設定すると、FAN 制御と温度警告設定は設定できません。



## 4-1 2. 動作設定

「リビルド設定」「常駐設定」「ログ設定」をおこなうことができます。

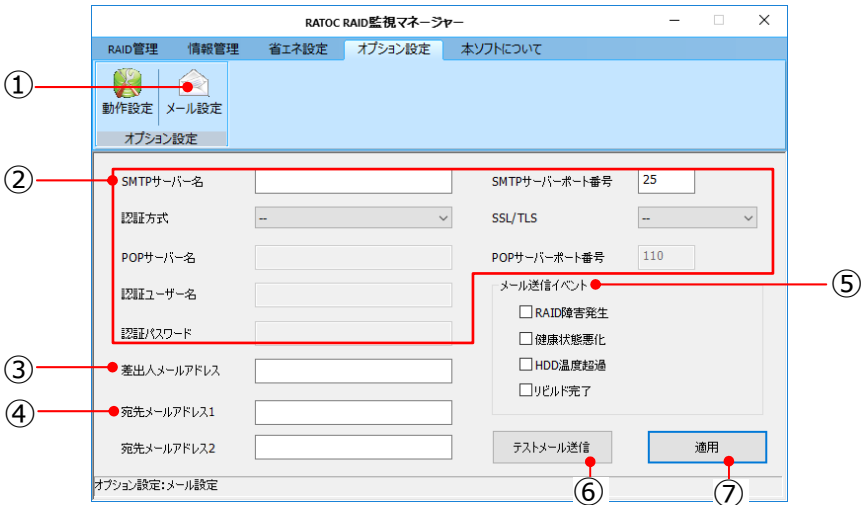


動作設定画面

①	動作設定	動作設定画面を表示するには【オプション設定】タブの中の【動作設定】をクリックします。
②	リビルド設定 ※RAID1 (ミラーリング) 使用時のみ有効	「電源オン状態で HDD を交換したとき、自動でリビルドを開始する」にチェックが入っていると、RAID1 (ミラーリング) 運用中に発生した故障 HDD を交換したときに、自動的にリビルドが開始されます。リビルド動作中も通常の読み書きができます。リビルド優先度のスライダーバーで、リビルド速度とリードライト速度の優先度を設定できます。 ※リビルド中はリビルド設定を変更できません。 ※RS-EC32-U31R はリビルド優先度の設定はできません。
③	常驻設定	RAID 監視マネージャーを OS 起動時から常驻させる設定です。
④	ログ設定	ログ情報 ( <a href="#">「4-6.ログ情報」</a> ) に記録するイベントを選択することができます。 ※RS-EC32-U31R では「省エネ・FAN 動作情報」のログ情報を記録できません。
⑤	標準設定	設定を初期設定値に戻します。
⑥	適用	クリックすると、変更した設定を適用します。

### 4-13. メール設定

メールサーバーに関する設定とメール送信イベントの設定ができます。

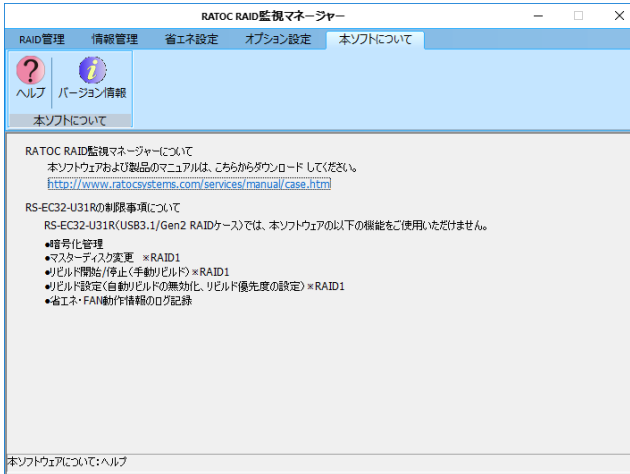


メール設定画面

①	メール設定	メール設定画面を表示するには【オプション設定】タブの中の【メール設定】をクリックします。
②	メールサーバーに関する設定	ご利用のメールサーバーのサーバー情報やパスワードなどを設定します。
③	差出人メールアドレス	差出人のメールアドレスを入力します。
④	宛先メールアドレス1 宛先メールアドレス2	宛先のメールアドレスを入力します。(合計2人まで)
⑤	メール送信イベント	メールで知りたいイベントにチェックを入れます。
⑥	テストメール送信	設定した内容で正しくメールが送信できるか確認するための、テストメールを送信します。
⑦	適用	クリックすると、設定を適用し有効化します。

#### 4-14. ヘルプ

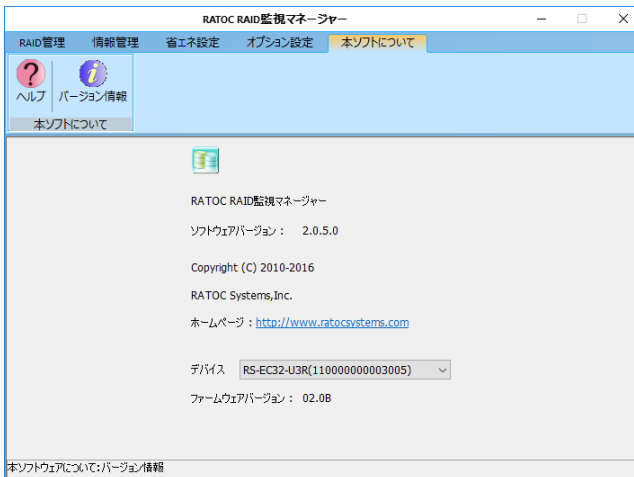
製品に関するヘルプが表示されます。



ヘルプ画面

#### 4-15. バージョン情報

RATOC RAID 監視マネージャーのバージョンや、製品のファームウェアバージョンが表示されます。



バージョン情報画面

## ソフトウェアに関するお問い合わせ

本製品に関するご質問がございましたら、下記弊社サポートセンターまでお問い合わせください。質問の内容によりましては弊社にてテスト・チェック等を行う関係上、回答まで時間を要する場合がございますので、予めご了承くださいませようお願い申し上げます。

### □ お問い合わせ先

**ラトックシステム株式会社サポートセンター**

**TEL : 大阪06-6633-0190 東京03-5207-6410**

FAX : 06-6633-3553 (FAX/ メールは24 時間受付)

メール : <https://web1.ratocsystems.com/mail/support.html>

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東1-6-14 朝日なんばビル

営業時間 : 月～金 10 : 00 ～ 13 : 00 14 : 00 ～ 17 : 00 土・日・祝・弊社指定休日除く

### □ ホームページ

ホームページで最新の情報をお届けしております。

ホームページ上からのご質問・お問い合わせも可能です。

<http://www.ratocsystems.com/>

- ※ 本製品は日本国内仕様となっており、海外での保守、およびサポートはおこなっておりません。
- ※ 予告なく外観または仕様の一部を変更することがあります。
- ※ 本書の内容に関しましては、将来予告なしに変更することがあります。
- ※ 本書の内容につきましては万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点や誤りなどお気づきの点がございましたらご連絡くださいますようお願いいたします。
- ※ 本製品の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、いかなる責任も負いかねますので、予めご了承ください。
- ※ 本製品および本紙に記載されている会社名および製品名は、各社商標または登録商標です。ただし本文中にはR およびTM マークは明記しておりません。

---

 **RATOC Systems, Inc.**

**ラトックシステム株式会社**

<http://www.ratocsystems.com/>

RATOC RAID 監視マネージャーVer.2 ソフトウェアマニュアル  
2017年1月 第1.1版

---